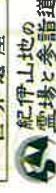


內
案
通
交



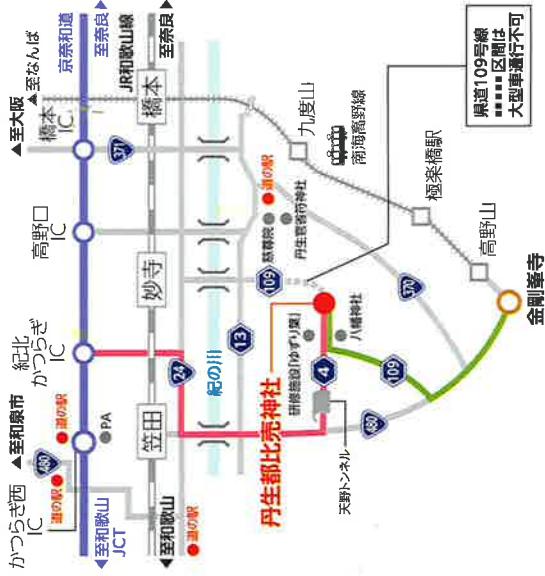
足伊山地の山々に日本人の折りの題解があるとして、高音・低音・拍打・音程たりとてこどもを楽器(町石造)扇貢主・人見貢主といひがたはあります。

紀伊國一之宮

丹生都比売神社

に う つ ひ め じ ん じ や

御由緒



吸容台数：50台

■ 紀北かつらぎICにより約20分

金剛峯寺より約35分

経道の獸（しあきの里・かつらぎ西；紀の川）方葉の里
柿の郷（くどうやま）より各約20分

コミュニティバス時刻表

笠田駅前発	丹生都比売神社行	15:55	17:25
7:10 8:10	10:00	12:00	
丹生都比売神社発	笠田駅前行		
7:40 9:10	11:00	13:00	16:30 18:05

※12月31日～1月3日運休
※正月3ヶ日・花盛祭等は、橋本・妙寺・高野山よりバス運行

社神壳比都生丹

〒649-7141 和歌山県伊都郡かつらぎ町上天野230番地
TEL.0736-26-0102

丹生都比売神社のホームページはこちら <http://www.niutsuhime.or.jp>

紀の川より紀伊山地に入り標高四五〇メートルの天野盆地に当社が創建されたのは古く、今から千七百年以上前のこと伝えられます。天平時代に書かれた祝詞である『丹生大明神告門』によれば、丹生都比売大神は天照大御神の御妹神ヤマト稚日女命とも申し上げ、神代に紀の川流域の三谷に降臨、紀州・大和を巡られ農耕を始め、この天野の地に鎮座されました。また、『播磨国風土記』によれば、応神天皇が社殿と紀伊山地北西部一帯の広大な土地を神領として寄進されたとあります。

「祭神のお名前の「丹」は朱砂の鉱石から採取される朱を意味し、古代から魔除けの力があるとされ、『魏志倭人伝』には既に邪馬台国の時代に「丹の山」があつたことが記載され、その鉱脈のあるところに「丹生」の地名と神社があります。全国にある丹生神社は八十八社、丹生都比売大神を祀る神社は百八社、摂末社を入れると百八十社余を数え、丹生都比売神社は、その総本社であります。

一千二百年前、真言密教の根本道場の地を求めていた弘法大師の前に、丹生都比売大神の御子、高野御子大神は黒と白の犬を連れた狩人に化して現れ、高野山へと導いたと伝わっています。弘法大師は、丹生都比売神社より、神領である高野山を借受け、山上大伽藍



に大神の御社を建て守護神として祀り、開山しました。これ以降、神と仏が共存する日本人の信仰觀がこの地において形成されてゆきました。中世、当社の周囲には、数多くの堂塔が建てられ明治の神仏分離まで当社は五十六人の神主と僧侶等で守られてきました。

また、高野山参詣の表参道である町石道の中間にある一つ鳥居は、神社境内の入口で、ます当社に参拝した後に高野山に登ることが慣習でした。

鎌倉時代には、行勝上人により氣比神宮から大食都比売大神、巖島神社から市杵島比売大神が勧請され、社殿が北条政子により寄進され、本殿が四殿となり、このころから国家安泰を祈る舞楽法会が江戸時代まで盛んに行われます。現存する本殿は、室町時代に復興され、朱塗りに彫刻と彩色を施した壯麗なもので、一間社春日造では日本一の規模を誇り、楼門とともに重要文化財に指定されています。

尚、平成十六年七月「紀伊山地の靈場と参詣道」の丹生都比賣神社境内が「神道と仏教の融合した文化的景觀がある」として、世界遺産に登録されました。さらに、平成二十八年十月には、古代からの当社への参詣道である「三谷坂」が追加登録されました。



御祭神と御神徳

第一殿 丹生都比売大神

諸々の災いを祓い退け、一切のものを守り育てる女神。健康・長寿と農業・機織の守り神。

第二殿 高野御子大神

弘法大師を高野山に導いた、人生の幸福への導きの神。

第三殿 大食都比賣大神

あらゆる食物に関する守り神、食べ物を司る女神。

第四殿 市杵島出守大神

財運と芸能の女神、七福神の弁天さまとしても知られています。

若宮 行勝上人

神社の発展に尽力した高野山の僧侶をお祀りしています。

境内社 佐波神社

明治時代に上天野地区の諸社を合せ、お祀りしました。

境内の一案内



楼門：重要文化財



本殿：重要文化財
(右側から第一殿、第二殿、第三殿、第四殿、若宮)



若宮

御田祭



花盛祭

祭礼

厄除祭

一月第三日曜日 厄年を迎えた方々の新年の厄除、開運、招福を祈るお祭りです。

御田祭

一月第三日曜日 豊年万作を祈る農耕神事(芸能)で厄除守護札・天野宮宝印・福の種が頒布され、福引も行われます。県の無形民俗文化財に指定されています。

花盛祭

四月第一日曜日 御祭神に花を供え、春を祝ぐ大祭。午後には御渡の舞が行われます。

神還祭

七月十八日 修験者が御神靈を奉じ峰々を回り帰還した故事により行われるお祭りです。

例祭

十月十六日 年に一回の当社の最も壯麗な秋の大祭です。

中鳥居



輪橋



外鳥社



佐渡神社

社宝

当社社宝には、銀銅蛭巻太刀柄（国宝・平安時代）などの刀剣、木造狛犬（重要文化財・鎌倉時代）、金銅琵琶（重要文化財・鎌倉時代）、木造鍍金装神輿（重要文化財・室町時代）、法華経（重要文化財・平安時代）などがあります。多くは、東京・京都・奈良の国立博物館に保管されています。



木造狛犬



木造鍍金装神輿

御祈願のご案内

家内安全・商売繁昌・交通安全・厄除・合格祈願、学業成就・病気平癒・身体健勝・子授祈願・安産祈願・初宮詣・七五三詣・開運招福・社運隆昌・心願成就・忌明消祓など、御祈願を隨時受け付けております。予約も可能です。七五三詣では、貸衣装と着付けのセットプランもあります。

神前結婚式

良き縁を結び、災いを祓い除け、幸福へと導く大神さまのご神前での結婚式を受け付けております。また、貸衣装・着付けについてのご相談も承っております。

特別参拝と由緒説明

楼門内参拝と由緒説明を団体・グループ（十名以上）対象に、おひとり五〇〇円以上の志納にて致しております。（要予約）

授与品



おみくじ

弘法大師を高野山へ導いた高野御子大神のお使い白黒二匹の神犬をかたどったおみくじ。

幸せみちひらき守り

室町時代の当社舞楽装束の柄をデザインした、人生の道をひらき幸せへと導くお守り。



琵琶守り

鎌倉時代に勧請された厳島明神（弁天様）の持物として北条政子より奉納された金銅琵琶（重要文化財）をかたどったお守り。